

令和7年度 昭島市立瑞雲中学校 学校経営方針

校長 定森 夏子

1 目指す学校

- 真面目に努力する生徒が生き生きと活躍できる学校
- 自主・自律の精神を培うことのできる学校
- 生徒・保護者・地域・教職員が誇りをもてる学校

◎教育目標＝目指す生徒像

- | | |
|-----------------|-----------|
| すすんで学習に励む生徒 | …学力向上 |
| たくましい体力を身につけた生徒 | …体力向上 |
| 規律と礼儀を重んじる生徒 | …道徳心・人権意識 |
| すすんで働き、協力しあう生徒 | …社会性・地域貢献 |

2 中期的目標と方策

【目標1】望ましい生活習慣の確立

方策：生活指導、心と体の健康教育、教育相談、不登校対策、特別支援教育の充実

【目標2】学力の定着・向上

方策：授業改善と学習評価の工夫、習熟の程度に応じた指導の充実

【目標3】自尊感情の育成

方策：他者と関わる体験や互いに認め合う活動の充実

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標

- ①真面目さや正義を尊ぶ心を育て、公正な判断力を身に付けさせる。
- ②授業規律を維持し、落ち着いた環境の中で学習意欲を高める。
- ③学校行事や体験活動を通じて、コミュニケーション能力や豊かな表現力を育成する。
- ④自分や他人を大切にする精神と、TPOに応じた言動を身に付けさせる。
- ⑤自分の体を大切にする意識をもたせ、楽しい学校生活を通じて心身の健康を維持・向上させる。

(2) 重点目標

<当たり前のことが当たり前のできる学校>…『凡事徹底』

*キーワードは規律・学力・自己有用感

- 【1】人権感覚と規範意識の確立
- 【2】学びに向かう力の育成と基礎学力の定着
- 【3】自己有用感の育成…最重点項目

(3) 具体的な方策

【1】「人権感覚と規範意識の確立」に向けて

[1] 生活指導

- *人権と生徒の将来に配慮し、生徒とのコミュニケーションを重視、毅然とした指導と状況に応じた柔軟な対応を併用
- *問題行動発生を未然に防ぐ予防的・開発的生活指導の充実
- ①『基本的生活習慣の定着』挨拶と礼儀、時間を守る、話を聴く、正しい言葉遣い、暴力の否定
- ②『全校一致の生活指導の推進』全校共通の方針による指導と個に応じた丁寧な対応、事実の確認と記録、確実な報連相による共通認識と組織的な指導
- ③『不登校生徒への柔軟な対応』定期的な連絡、配布物、テストの受け方、評価、居場所づくりの配慮、不登校対応巡回教員の活用、拠点校としての取組推進
- ④『事件・事故・苦情対応』安全確保、事実確認と迅速な組織的対応、確実な記録と説明責任、再発防止
- ⑤『外部機関等との連携』平時からの情報共有、必要な場合は躊躇せず支援を要請

[2] 人権教育

- ①『生命尊重と共生の視点』自他を大切にする、いじめや暴力行為、不登校問題の予防的指導
- ②『言語環境の適正化』生徒と教師双方で言葉遣い、文書表現等の改善を図る

[3] 道德教育

- ①『道德の時間の授業改善』『特別の教科』の趣旨を踏まえた計画的な指導
- ②『道德授業地区公開講座の充実』保護者、地域との連携強化
- ③『全教育活動を通じた意図的な実施』常に心を育てる意識で教育を推進

【2】「学びに向かう力の育成と基礎学力の定着」に向けて

[1] 学習指導

- ①『分かりやすく工夫された授業』ねらいの提示、導入の工夫、ICTの活用
- ②『適正で信頼される評価』指導と評価の一体化、適切な評価材の設定
- ③『少人数指導の充実』習熟の程度等に応じた指導方法の工夫・改善
- ④『振り返り活動の実施』生徒による授業の自己評価を実施
- ⑤『学習習慣と家庭学習の推進』家庭学習の計画や宿題の出し方の工夫
- ⑥『基礎学力の定着』個別指導と補充的学習の充実
- ⑦『教科指導に関する研修の実施』校内での授業研究の実施

[2] 進路指導

- ①『三者面談の充実』保護者と連携した丁寧な指導・助言
- ②『進路資料の工夫』生徒に主体的に進路を考えさせる指導の充実
- ③『系統的な指導の推進』3年間を通じて段階的な指導を実施

[3] 総合的な学習の時間

- ①『職業調べ・職場体験の充実』望ましい職業観・勤労観の育成
- ②『キャリア教育の系統的指導』計画的な課題解決学習の推進

【3】「自己有用感の育成」に向けて

〔1〕授業や特別活動・学校行事

＊仲間に認められる体験を意図的・計画的に設定し自己有用感を育成

①『行事の重点化』体育大会、合唱コンクール等で生徒の主体的な活動を重視

②『生徒会活動の充実』生徒会朝礼、生徒総会、自治活動の充実

〔2〕部活動（運動系・文化系共に）

＊主体的な活動を通じて、努力して自分なりの目標を達成することを体験させる

〔3〕特別支援教育

①『特別支援教室拠点校の取り組み』ずいうん教室と通常学級の連携

②『成功体験の積み重ねを重視した指導』スモールステップによる指導の工夫

③『外部機関等との適切な連携』課題を抱え込まずに組織対応による解決

（4）コミュニティ・スクールとしての取り組み

〔1〕保護者や地域との連携

①『学校運営協議会を活用した学校運営』…教育活動の改善・充実

②『授業公開・保護者会・三者面談の充実』…成果を発信し理解と協力を得る

③『地域活動への積極的な生徒の参加』…自治会等と連携し地域を支える人材の育成

〔2〕小中連携教育の推進

＊学区小学校2校と連携し9年間を見通した教育活動の推進

4 組織運営

（1）校務分掌の適正化…職務や責任の明確化と効率化

（2）ライン組織による教育活動の計画的な進行管理

（3）学年・学級経営の重視…集団の実態を踏まえ、生徒理解を通じた具体的な計画と実施

（4）諸会議、事案決定の効率化…事前決裁・相談・調整

（5）学校評価の充実…生徒・保護者による評価、学校運営協議会による評価の活用

（6）人事考課制度（自己申告）による教員の資質・能力の育成

（7）服務事故防止の徹底…体罰、個人情報紛失、交通事故、わいせつ行為、会計事故等の根絶

5 目指す教師像

（1）『親切・丁寧・コミュニケーション重視』生徒、保護者、地域へ、教員相互も

（2）『全員一丸での組織対応』各自の努力+組織の総力でよりよい教育ができる

（3）『認めて褒める指導』教育とは心を育てること

（4）『チェックと改善』常によりよいものを目指す向上心

（5）『教育公務員の自覚』服務の厳正、言動、身だしなみ

（6）『ライフ・ワークバランス』効率的に仕事をこなし充実した人生を